日本語教育法Ⅱ

小山令子

授業概要

日本語中級レベル、上級レベルの指導法を学ぶ。日本語教育では中級まででほぼすべての基本的学習を終えるので、特に中級レベルの教え方を主眼に指導法を学ぶ。教材として広く日本語教育機関で使われている『みんなの日本語中級』を使用する。初級、上級との指導内容の相違を考慮しつつ中級レベルの教え方に習熟する。また、授業では模擬授業もおこなう。

授業計画

第１回	中級レベルの指導法の特徴
第２回	『みんなの日本語　中級』第１課
第３回	『みんなの日本語　中級』第２課
第４回	『みんなの日本語　中級』第３課、第４課
第５回	『みんなの日本語　中級』第５課、第６課
第６回	模擬授業
第７回	『みんなの日本語　中級』第７課、第８課
第８回	『みんなの日本語　中級』第９課、第１０課
第９回	『みんなの日本語　中級』第１１課、第１２課
第10回	模擬授業
第11回	上級レベルの指導法
第12回	上級レベル教材を使い指導法を学ぶ
第13回	上級レベルの教え方
第14回	上級レベルの教え方
第15回	上級レベルの教え方
第16回	筆記試験

到達目標

中級レベル、上級レベルの教え方を習得する。

履修上の注意

日本語教育概論、日本語教育法Ⅰを履修していること。

予習復習

学んだことをきちんと復習すること。

評価方法

出席、授業態度（10%）、宿題、課題（30%）、期末試験（60%）

テキスト

『みんなの日本語　中級』（スリーエーネットワーク）
その他担当者作成教材